

■各学部/学科(専攻・コース等)及び学位プログラム一覧■

学 部	学 科	コース・専攻	学科目等	専修等	学位(種類)	学位プログラム
法 学 部	法 学 科				学士(法学)	法 学
	国際公共政策学科					国際公共政策学
経 済 学 部	経済・経営学科				学士(経済学)	経済学・経営学
理 学 部	数 学 科				学士(理学)	数 学
	物 理 学 科					物 理 学
	化 学 科					化 学
	生物科学科	生物科学コース 生命理学コース				生 物 科 学
医 学 部	医 学 科				学士(医学)	医 学
医 学 部	保 健 学 科	看 護 学 専 攻			学士(看護学)	看 護 学
		放射線技術科学専攻			学士(保健衛生学)	放射線技術科学
		検査技術科学専攻				検 査 技 術 科 学
歯 学 部	歯 学 科				学士(歯学)	歯 学
薬 学 部	薬学科(6年制)				学士(薬学)	薬 学
	薬 科 学 科				学士(薬科学)	薬 科 学
工 学 部	応用自然科学科		応 用 化 学 科 目	応 用 化 学 コ ー ス	学士(工学)	応 用 化 学
			応 用 生 物 工 学 科 目	応 用 生 物 工 学 コ ー ス		応 用 生 物 工 学
			精 密 科 学 科 目	精 密 科 学 コ ー ス		精 密 科 学
			応 用 物 理 学 科 目	応 用 物 理 学 コ ー ス		応 用 物 理 学
	応用理工学科		機 械 工 学 科 目	機 械 工 学 コ ー ス		機 械 工 学
			マテリアル生産科学科目	マテリアル科学コース 生 産 科 学 コ ー ス		マテリアル生産科学
	地球総合工学科		船 舶 海 洋 工 学 科 目	船 舶 海 洋 工 学 コ ー ス		船 舶 海 洋 工 学
			建 築 工 学 科 目	建 築 工 学 コ ー ス		建 築 工 学
	電子情報工学科		電 気 電 子 工 学 科 目	システム・制御・電力コース 先進電磁エネルギーコース 量子電子デバイスコース		電 子 情 報 工 学
			情 報 通 信 工 学 科 目	情報通信工学コース		
	環境・エネルギー工学科		環境・エネルギー工学科目	環境・エネルギー工学コース		環境・エネルギー工学
基礎工学部	化学応用科学科		合 成 化 学 コ ー ス		学士(工学)	化 学
			化 学 工 学 コ ー ス			化 学 工 学
	情報科学科		計 算 機 科 学 コ ー ス			計算機科学・ソフトウェア科学
			ソフトウェア科学コース			
			数 理 科 学 コ ー ス			数 理 科 学
	システム科学科		機 械 科 学 コ ー ス			機 械 科 学
			生 物 工 学 コ ー ス			生 物 工 学
	電子物理科学科		知能システム学コース			知能システム学
			エレクトロニクスコース			エレクトロニクス
			物性物理科学コース			物 性 物 理 科 学

医学部(保健学科)

■ 教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシー ■

教育目標

大阪大学の教育目標を受けて、医学部保健学科では高度な医療専門職の養成を目指しています。これらの高度専門職になるためには、高い倫理観と豊かな人間性が必要です。そのためには人間を十分に知り、健康と社会の関係を理解し、他人とコミュニケーションをとるための教養が要求されます。そこで学生には、大学の講義だけでなく、自主的な学習や課外活動への積極的な参加を促します。次の段階では、医療に関する深い学識の習得を目標とします。そのために保健学科では教科書や講義だけでなく、実習などを通じた主体的なグループ学習を提供します。基本的な医療の知識が不十分であると、看護学、放射線技術科学、検査技術科学の各専門分野を十分に習得することはできません。これらの専門分野の教育では先進医療のあらゆる分野に対応できる専門的な知識を教授すると同時に、自分でものを考える能力や種々の問題を解決できる能力を養成し、将来実地臨床の医療従事者だけでなく、研究者としても活躍できるデザイン力を養います。さらに、これからのグローバル社会で活躍するために、専門領域で確固たる自信を持ち、専門知識・技術と語学力を基盤としたリーダーシップやサポーターシップが取れる人材の育成を目指します。さらに医療専門職の教育においては、知識や技術とともに最も要求される高い倫理観と豊かな人間性を育成します。

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

大阪大学のディプロマ・ポリシーのもとに、医学部保健学科においては、国内だけではなく世界に通用する高度な医療専門職の養成をめざすという基本理念の下、以下の基準を満たした学生に学位を授与します。

- 1 医療専門職としてふさわしい使命感と倫理観を自覚している
 - ・ 高い倫理観と人間性を身につけ、常に医療のプロフェッショナルであるという自覚のもとに行動できる
 - ・ それぞれの専門領域における方向性を示し、目標の実現のためにリーダーシップをとることができる
 - ・ 社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に貢献できる
- 2 看護学あるいは医療技術科学についての専門的知識および技能をもち、チームの一員として行動することができる
 - ・ 必要となる専門的知識および技能を得るために、主体的かつ継続的に学習する能力をもつ
 - ・ 専門的知識体系を人類の文化、社会、自然に関連づけて理解できる
 - ・ 自らの思考プロセスを第三者に伝達するための的確なプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力をもつ
- 3 看護学あるいは医療技術科学における新たな問題を主体的に解決することができる
 - ・ 問題を探究するための柔軟で横断的な想像力を身につけている
 - ・ 問題解決のための実践的な方法をデザインできる
 - ・ 日本語および英語を用いて必要な情報を多面的に収集できる
 - ・ 専門的知識を総合的に活用しながら問題をグローバルな視点で位置づけできる
 - ・ 得られた情報を客観的に整理、分析し、科学的根拠の下に論理的に考察することができる

カリキュラム・ポリシー

（教育課程の編成・実施の方針）

現代の医療が取り組むべき課題は、単に疾病のみでなく、広く人々の健康や福祉にまでも及んでおり、より高度で広範な対応が求められています。このため医療の現場において医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師等の専門医療職者がそれぞれの専門性を活かしたチームを組み、医療の発展に貢献することが必須です。

大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもとに、医学部保健学科は、全学共通教育で幅広い知識と教養、豊かな人間性、高い倫理観を身につけます。専門課程では、看護学、放射線技術科学、検査技術科学の理論と実践を科学的に追求し、高度の専門知識・技術を総合的に教育・研究します。わが国におけるこれら分野の知的拠点として、学問的進歩を先導し、その中核を担う指導的人材の養成を目標としています。

国際的にもライフサイエンスの一大情報発進基地として発展しつつある大阪大学において、他の学部・学科とともにその一翼を担い、人類全体の健康と福祉の増進を目的として豊かなヒューマニズムにもとづいた国際的指導性、コーディネーション能力、コミュニケーション能力を有する人材の養成を目指します。さらには新たな問題を的確に位置づけし、情報を多面的に収集、整理、分析した上で、科学的根拠の下に論理的に考察できるよう指導します。臨床での教育・研究は医学部附属病院のスタッフの協力のもとに行います。医療に関する知識は座学だけでなく、実践の場で応用できることが必要です。

カリキュラム全体を通し、医療専門職としてふさわしい使命感と倫理観を自覚した医療のプロフェSSIONナルとして、目標の実現のために適正な医療技術の提供とそれに対する責任の持てる社会人を育成します。

アドミッション・ポリシー

（入学者受入の方針）

「保健学」とは、健やかさを保つための学問です。すなわち「からだ」と「こころ」の健康を科学する学問です。高度な専門知識と深い学識をもって、医療現場で活躍しつつ、創造的能力を持ち未来の医療を拓こうとする志の高い看護職者・医療技術者が社会から求められます。そのためには基本的な自然科学の知識や論理的な思考、幅広い社会常識も必要です。人々が健やかさを保つためには、これまでのように病気の治療だけを対象とするのではなく、病気の予防、治療後の療養、そして普通に生活を送っている人々の健康の維持・増進を援助する看護職者・医療技術者が求められます。

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、医学部保健学科では実学としての医療科学を切り開くバイタリティー溢れる人、理論としての医療科学を追求する理想に燃える人の入学を期待します。今日、健康は一国の問題ではなく世界的視野にたって考えることが必要とされます。保健学科では、広い視野を持ち、国際的にも貢献する意欲を持った人を期待します。そして何よりも「人」に対して関心のあつる人、温かい目を持つ人を求めます。

保健学科で求めるのは次のような人たちです。

1. 保健医療科学の分野で自ら新しい道を切り開いていこうとする意欲を持った人
2. 他領域、他分野と協力しつつ保健学を实践することに興味がある人
3. 国際的視野にたって個人、集団を考えられる人
4. 高い倫理観と豊かな人間性を持つ人

この様な学生を選抜するために、センター試験、個別学力検査および面接により総合的に判定しています。